

2026(令和8)年度

国民スポーツ大会
札幌支部予選 中学生の部

〇期 日 令和8年6月6日(土)

〇会 場 円山公園テニスコート

〇主催・主管 札幌ソフトテニス連盟中学部

令和8年度 国民スポーツ大会(少年の部)札幌支部中学生予選

開催要項

- 1 主催・主管 札幌ソフトテニス連盟 中学部
- 2 日 時 令和8年 **6月6日(土)** **男女予選**
※予備日 6月13日(土)
8:30 受付終了 9:00 競技開始
- 3 会 場 円山公園テニスコート
- 4 競技 規則 日本ソフトテニス連盟 「国際競技規則」に準ずる
- 5 試合 方法 男女とも トーナメント方式 **5ゲーム**
- 6 参加 資格
 - ・平成23年4月2日～平成24年4月1日までに生まれた者
(それ以外に出場権はありません。オープン参加は認めません。)
 - ・審判員としての実力を有していること。
 - ・札幌市内の中学生であること。
 - ・各校(チーム)男女各5ペアまでとする。参加希望ペアが多い場合は、校内で選考を行うこと。
 - ・指導者および当該学校の教員が監督となり、引率すること。
 - ・本大会上位の男子5ペア・女子4ペアを国民スポーツ大会少年の部道予選 8/14(金)～16(日)(函館市)の札幌支部代表として推薦する。この大会に参加する選手は不測の事態が起こらない限り、北海道予選に出場することを前提として臨むこと。(補充などは行わない)
7. 参 加 料 1組 1,200円
8. 参加 申込 5月22日(金)までに中学部ホームページ申込フォームへ入力すること。
9. その他
開会式・閉会式は現在行わない予定となっています。注意事項などを連絡する程度の予定です。

※ご質問・ご意見等連絡先

札幌ソフトテニス連盟 中学部 札幌市立米里中学校 西田 裕紀

TEL 875-5711 Fax 875-4853

国民スポーツ大会予選(札幌支部・中学生の部)

令和8年6月6日

円山公園テニスコート

中学男子 (1)

1 今川・関根 栄	61	16 金山・伊藤 石山	32
2 高橋・佐々木颯 札幌北	1	69	bye 33
3 讃良・加藤 向陵	93	17 堀・皆川 真栄	34
4 川島・大西 八条	2	金山・井口 平岸	35
5 敦賀・竹下 屯田北	62	18 吉田・柳澤 琴似	36
6 佐々木・小林 北白石	3	70 小川・猪俣 澄川	37
7 本多・水口 東月寒	109	19 渋谷・草階 陵北	38
8 高儀・宮本 東白石	4	松尾・村上 上野幌	39
9 岩上・日野 羊丘	63	20 野澤・山端 太平	40
10 藤部・樋口 厚別北	5	71 矢吹・輪島 西野	41
11 佐久間・津村 あいの里東	94	21 上居・多田 札幌北	42
12 阿部(宗)・富田 平岸	6	勝見・佐藤 白石	43
13 関・村上 手稲	64	22 山内・志和 手稲	44
14 須藤・井上 もみじ台	7	72 長堀・宮野 あいの里東	45
15 小山内・千葉 篠路西	117	23	bye 46
16 山・稲村 光陽	8	小池・公平 羊丘	47
17 bye	65	24 山下・小笠原 手稲西	48
18 原・東海林 栄	9	73 中村・岡田 屯田北	49
19 中道・黒嶋 澄川	95	25 久保寺・矢島 栄	50
20 大輪・奈良岡 札幌	10	栃尾・畠山 陵北	51
21 砂原・鈴木 向陵	66	26 田中・西島 もみじ台	52
22 加藤・秋野 陵北	11	74 東峰・倉本 屯田中央	53
23 宮崎・山口 真栄	110	27 川村・小野 日章	54
24 高橋・菊池 新陵中(抛)	12	宮下・五十嵐 月寒	55
25 三国・伊藤 屯田中央	67	28 毛利・加藤 柏丘	56
26 佐々木・伯谷 藻岩	13	75 中川・有田 中の島	57
27 石川・石崎 平岡中央	96	29 川崎・江良 平岡中央	58
28 古谷・川越 中の島	14	西村・加茂 宮の森	59
29 飯田・小林 柏丘	68	30 山本・草野 藻岩	60
30 bye	15	76 渡辺・脇坂 手稲	61
31 安田・今野 厚別南		吉田・福島 向陵	62

国民スポーツ大会予選(札幌支部・中学生の部)

令和8年6月6日

円山公園テニスコート

中学男子 (2)

63 肴倉・玉越 栄	77	46 鈴木・沼田 もみじ台	94
64 江本・大畑 篠路西	31	85	bye 95
65 鳥羽・豊原 平岡中央	101	47 大場・栗田 澄川	96
66 高塩・須田 北白石	32	仙庭・内海 柏丘	97
67 高嶋・齋藤 厚別南	78	48 阿部(空)・越前 平岸	98
68 福永・田島 中の島	33	86 田村・木谷 篠路西	99
69 藤野・内藤 米里	113	49 佐藤・松田 東月寒	100
70 石川・渡邊 あいの里東	34	寺林・森 陵北	101
71 大野・佐藤 東白石	79	50 橋本・宮地 澄川	102
72 佐々木・川端 屯田北	35	87 山田・宇佐美 平岡中央	103
73 佐藤・武田 藻岩	102	51 山本・横山 光陽	104
74 村瀬(健)・高嶋 向陵	36	106 木村・石岡 中の島	105
75 關澤・江口 真栄	80	52 川島・幅野 石山	106
76 長代・柳本 羊丘	37	88 小野・松本 札幌	107
77 工藤・渡邊 柏丘	119	53	bye 108
78 松村・平原 屯田中央	38	田中・総村 栄	109
79	81	54 平館・梅田 向陵	110
80 鈴木・佐藤 平岸	39	89 多田・勾坂 平岡中央	111
81 福田・高橋 陵北	103	55 荻原・白府 宮の森	112
82 阿部・橋 月寒	40	泉・橋谷 もみじ台	113
83 藤田・沢里 上野幌	82	56 和田・中西 東白石	114
84 松本・大上 もみじ台	41	90 志子田・堀江 月寒	115
85 佐々木・土谷 札幌北	114	57 中村・小林 新陵中(抛)	116
86 大田・上野 新陵中(抛)	42	向中野・野原 日章	117
87 朝倉・福井 光陽	83	58 金子・玉田 稲陵	118
88 内田・越中谷 羊丘	43	91 西田・上野 札幌北	119
89 中村・大森 手稲	104	59 福田・井本 手稲	120
90 向・十河 宮の森	44	山本・近藤 屯田北	121
91 島田・中安 真栄	84	60 脇田・成田 藻岩	122
92	45	92 小川・小野 厚別南	123
93 浪花・梶川 西野		東・吉田 羊丘	124

国民スポーツ大会予選(札幌支部・中学生の部)

令和8年6月6日

円山公園テニスコート

中学女子(1)

1 森谷・小山 米里	61	16 中川・湊 西岡北	32
2 佐藤・今野 琴似	1	69 bye	33
3 尾岸・岸下 屯田中央	93	17 小高・多奈村 宮の丘	34
4 板野・柴田 栄南	2	齊藤花・佐久間 あいの里東	35
5 田中・大浦 平岡中央	62	18 上野・篠原 西野	36
6 谷川・中澤 手稲	3	70 牧野・宮下 東白石	37
7 坂本・菅原 上野幌	109	19 風間・新井 澄川	38
8 和田・宮川 手稲東	4	新田・藤島 北白石	39
9 佐藤・大瀬 札幌	63	20 安達・和栗 もみじ台	40
10 石原・北川 稲積	5	71 飯沼・小林 陵北	41
11 佐々木・大沼 石山	94	21 竹本・大沼 厚別北	42
12 小野寺・三橋 厚別北	6	中上・江田 栄	43
13 澤口・岡田 札幌北	64	22 工藤・山内 篠路西	44
14 森田・西 澄川	7	72 工藤・中島 中の島	45
15 福屋・齊藤渚 あいの里東	117	23 高原・永見 札幌	46
16 里館・内田 月寒	8	大西・宮崎 真栄	47
17 bye	65	24 高・佐藤 手稲西	48
18 白井・川村 琴似	9	73 bye	49
19 田中・新開 北野台	95	25 高木・宮崎 稲積	50
20 近藤・纓坂 平岸	10	山田・小川 札幌北	51
21 中村・鈴木 澄川	66	26 佐藤・藤本 屯田中央	52
22 佐藤・宮下 中の島	11	74 市川・茶畑 東月寒	53
23 新敷・今井 新陵	110	27 竹内・加藤 ソフテニ道場	54
24 及川・青木 篠路西	12	齊藤・砂山 光陽	55
25 南・西澤 稲陵	67	28 中嶋・久朗津 厚別南	56
26 河合・重倉 東月寒	13	75 浜田・野村 手稲	57
27 畑・五木谷 柏	96	29 竹島・菅原 琴似	58
28 中村・御池 西岡北	14	北・五十嵐 向陵	59
29 長内・岡本 屯田北	68	30 安住・狩野 厚別南	60
30 bye	15	76 島・佐藤 手稲東	61
31 尾谷・吉守 宮の丘		春木・阿部 星置	62

国民スポーツ大会予選(札幌支部・中学生の部)

令和8年6月6日

円山公園テニスコート

中学女子(2)

63 尾崎・北山 北野台	77	46 丹保・近江 篠路西	94
64 千葉・平川 篠路西	31	85	bye 95
65 佐藤・浅野 宮の丘	101	47 近藤・會田 厚別北	96
66 藤澤・宮崎 平岡中央	32	105	藤社・原 宮の丘 97
67 相賀・星野 あいの里東	78	48 富永・土田 東白石	98
68 元木・松井 上野幌	33	86	牧村・前原 東月寒 99
69 藤本・山本 西岡北	113	49 宗像・徳佐 中の島	100
70 長田・平間 稲陵	34	115	小柴・柴田 陵北 101
71 勝見・高橋 札苗北	79	50 秋田・多田 羊丘	102
72 岩泉・清川 東月寒	35	87	鈴木・高橋 上野幌 103
73 倉岡・森 米里	102	51 常本・國井 琴似	104
74 和島・工藤 柏	36	106	門田・岩崎 藻岩 105
75 渡部・赤染 向陵	80	52 伊藤・小出 厚別南	106
76 柴田・西澤 厚別北	37	88	高坂・工藤 手稲東 107
77 前田・小松 新陵	119	53 川口・成田 あいの里東	108
78 大澤・宮田 東月寒	38	120	小林・山本 ソフテニ道場 109
79 御殿敷・川崎 屯田中央	81	54 武曾・戸田 澄川	110
80 前河・西澤 西岡北	39	89	北本・山本 札苗北 111
81 鬼澤・砂川 陵北	103	55 宗像・磯角 真栄	112
82 高橋・原田 手稲	40	107	道下・林 宮の森 113
83 和田・山内 もみじ台	82	56 林・小澤 啓明	114
84 甲斐・高島 平岸	41	90	長束・松原 手稲西 115
85 佐々木・平山 星置	114	57 長谷川・四十住 西野	116
86 平野・林 中の島	42	116	山内・山中 札幌 117
87 菅原・鈴木 宮の丘	83	58 金兵・大滝 屯田北	118
88 高田・高橋 厚別北	43	91	藤田・水戸 中の島 119
89 木村・横山 稲積	104	59	bye 120
90 岩井・杉本(愛) 澄川	44	108	長谷川・森嶋 琴似 121
91 菅原・秋田 手稲東	84	60 高橋・上崎 平岸	122
92 吉田・久保 西野	45	92	上崎・木村 篠路西 123
93 穴戸・伏見 あいの里東			村椿・伊藤 屯田中央 124

第 80 回国民スポーツ大会ソフトテニス競技北海道ブロック予選会

兼

北海道体育大会（少年の部：ダブルス）

開 催 要 項

1	日 時	2026年8月14日（金）～16日（日） 受付終了8時30分 受付終了後開会式 ★予備日 8月17日（月）
2	会 場	函館市千代台公園庭球場 〒040-0013 函館市千代台町27-2 ※砂入り人工芝 18面 Tel(0138) 3 1 - 6 9 9 3
3	主 催	公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 北海道スポーツ協会
4	主 管	北海道ソフトテニス連盟（強化委員会）、北海道ソフトテニス連盟高校部 函館ソフトテニス連盟
5	後 援	スポーツ庁・北海道・函館市
6	種 目	少年男子・少年女子 ダブルス
7	大会使用球	ケンコーボール
8	競技方法	(1) 別添『2026 年度国民スポーツ大会道予選会実施要領』及び『国民スポーツ大会北海道代表選考規程』に基づき実施する。 (2) 7ゲームマッチ (3) ルール等は、公益財団法人日本ソフトテニス連盟（以下、日連という）ソフトテニスルールブックによる。
9	参加資格	(1) 平成20年4月2日以降平成24年4月1日以前に生まれた者 (2) 日本国籍を有する者とし、本ブロック予選会への出場資格を得た者 ただし、日本国籍を有しない者は、学校教育法第1条に定める学校に、申込時、1年以上継続して在籍する生徒であれば良い (3) 居住地を示す現住所が北海道内である者、又は勤務地が北海道内である者、又は学校教育法第1条に規定する学校に在籍している場合には、学校の所在地が北海道内にある者 (4) 国民スポーツ大会本選への出場意思があり、審判ができる者 (5) 平成23年4月2日～平成24年4月1日生まれ（中学3年生）の者は20ペア出場できる（道連中学部が選考し、道連高校部に申込む） ★参加に際してはベンチ入り指導者等、高校の適用ルールを把握して守ること。
10	申込期限	2026年7月20日（月）
11	参 加 料	1ペア8,500円(道連大会参加料2,500円+日体協負担金6,000円※下記参照) ★上記参加料には、1名あたりの日体協参加者負担金2,000円及び日体協傷害補償制度負担金1,000円の合計3,000円を含みます。(ペアで合計6,000円)
12	参加割当	(1) 各支部には原則として、少年男・女別に会員登録20名につき1組の割合で参加数を割り当てる。開催支部については男女各4ペアを加える。 (2) 別紙『指定シードペア』については地区予選を免除するとともに、前述の各支部割当の枠外とする。
13	申込方法	日本連盟、新システムにより申し込み、選択した支払方法により期限(7月20日)までにお支払いください。 *申し込み・システムに関する問い合わせは北海道ソフトテニス連盟にお願いします。 Tel 011-867-0162
14	参加選手 留意事項	(1) 所定の時刻までに受付を完了し、開会式には、必ず出席すること。 (2) 日連指定のゼッケンを着用し、四隅を止めること。 (3) ラケット（公認マーク添付）、シューズ、ユニフォームは、日連が公認したメーカーの製品を使用（着用）し、当該年度の日連の「ユニフォーム等の着用

	基準」を遵守すること。 (4) 日連会員登録証（登録会員）、公認審判員ワッペン及びイエローカードを携行し、審判を担当するときは、原則ワッペンを左胸に着用すること。 (5) ベンチ入り指導者もテニスの服装とする。 (6) 引率責任者は当該校の教員とする。ベンチ入り指導者は学校長の認めた教職員とし、2名まで認める。出場ペア数が1ペアの場合は、1名とする。校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。なお、ベンチ入りが可能なのは、1次予選までとし、それ以降のマッチでは、全ての指導者を対象に一切認めないこととする。 (7) 優勝者は必ず「持ち回り優勝杯」を持ち帰り、次年度の大会時に整備のうえ、責任を持って当該校の選手が返還すること。 (8) 荒天の場合等合の大会の取り扱いについては、当日会場で、受付時刻までに発表する。 (9) 本大会に係わる写真・映像等の広報についての活用と一切の権利については、北海道ソフトテニス連盟に帰属し、承諾するものとする。なお、これらの活用に不都合がある場合などは、北海道ソフトテニス連盟にお願いします。 Tel 011-867-0162 ★変更が生じた際は、専門委員や高体連ソフトテニス専門部ホームページにより参加校へ連絡する。
--	---

この事業は、競輪の補助を受けて実施しています。

競輪の補助事業



ユニフォーム等の着用基準について

令和元年6月10日 改訂

ソフトテニス競技者は競技会において、マッチ中は本連盟の公認するメーカーのユニフォームおよびシューズを着用するものとする。ただし、大会主催者が認めた場合にはこの限りではない。

1. ユニフォーム

男子の場合、ゲームシャツと裾が膝より上のパンツ、女子の場合、ワンピースまたはゲームシャツと裾が膝より上のパンツ、スカートとする。

※Tシャツ、ジーンズはユニフォームとして着用できない。

2. シューズ

テニスコートを傷つけないテニスシューズとする。

3. その他

マッチ中に使用する物品については、本連盟が認める下記の範囲を超えて広告とみなされる企業名、商標等および所属名を表示してはならない。

(1) 製造メーカー

企業名、商標のロゴ等は20cm²以内のものを、各製品それぞれ2箇所以内の表示とする。

ただし、シューズについては箇所の制限をしない。

(2) ユニフォーム広告等

①スポンサー広告

スポンサーの企業名、商標のロゴ等の広告を表示する場合は1広告につき40cm²以内とする。

②登録団体名

団体名（ロゴ・校章含む）の表示については、シャツ（ワンピース含む）が1表示130cm²以内、パンツ・スカート等は40cm²以内とする。

※(2)については国民体育大会を除く。

※(2)の貼付等により(1)を覆い隠してはいけない。

※(2)について大会スポンサーはこの限りではない。

《ウェアに関する特例》

(1) オーバーウェア及び長袖スポーツシャツ、セーター等の着用については、大会主催者が認める場合のみ着用可能とするが、ゼッケンは最上衣服に貼付すること。

(2) アンダーウェア（長袖を含む）及びスパッツの着用については、単色の製品を原則とする。

令和8年度 国民スポーツ大会（青森県開催）少年男女北海道予選会実施要領

北海道ソフトテニス連盟強化委員会

1 開催日時

種別・会場	試 合	受付・開始時間
ダブルス (函館市千代台庭球場)	1 次 予 選	8月14日(金) 午前8時30分受付終了、9時試合開始
	2 次 予 選	8月15日(土) 午前8時30分受付終了、9時試合開始
	最 終 予 選	8月16日(日) 午前8時30分受付終了、9時試合開始
シングルス (サンスポーツランド美唄)	1 次 予 選	6月13日(土) 午前8時30分受付終了、9時試合開始
	最 終 予 選	6月14日(日) 午前8時30分受付終了、9時試合開始 ※1次予選は競技者育成プログラムstep2の結果も採用する

2 選考方法

(1) ダブルス

「指定シードペア（代表候補選手）」は、地区予選を免除。（各支部割当て枠外とする）
該当するペアの選手変更は一切認めない。ただし、上記権利取得後に地区予選に出場した場合は（ペア変更を含む）は、権利を消滅する。中学3年生は、強化委員会推薦選手を除き、道予選会の1次予選（初日）から20ペアに限り出場を認める。

●1次予選（初日）

- ・トーナメント戦又はリーグ戦により4ペアを選出する。

●2次予選（2日目）

- ・上記4ペアと指定シードペア（代表候補選手）8ペアを、A・Bブロック各6ペアに分け、総当たりリーグ戦（1回）により、A・Bブロック各上位2ペアを最終リーグに進出させる。

●最終予選（3日目）

- ・上記4ペアにより、総当たり最終リーグ戦（1回）を行い、トータルポイントで上位のペアから順に代表ペアとして内定する。

(2) シングルス

シングルスは、競技者育成プログラムと連動し、参加基準を設けて以下の通り実施する。

●競技者育成プログラムstep2選考会 兼 1次予選（前日）

- ・「U17（中学3年生含む）」「高校3年生の部」の各カテゴリーにおいて、規定大会におけるポイント上位者及びハイスクールジャパンカップ南北予選（シングルス）優勝者、北海道新人戦（シングルス）ベスト4入賞者を対象として「カテゴリー別トーナメント戦」を実施し、U17から上位2名、高校3年生の部から上位4名を選出する。

●最終予選

- ・選出された6名による総当たりリーグ戦を行い順位決定する。なお、ダブルスの選考を優先とするため、この時点ではシングルの内定候補者として位置づけ、ダブルスの選手選考が確定した後にシングルの代表選手を確定させる。

●全国大会における代表内定との兼ね合い

- ・全国大会結果における「代表内定選手」の権利を有した場合、予選会の結果よりも優先する。ただし、ダブルス代表との兼ね合いもあるので、原則予選会は実施する。

【注意事項】

- 1 ダブルス及びシングルスで内定となった選手が辞退をする場合は、それぞれの予選会で次点となったペア（ダブルスの場合）又は選手（シングルの場合）を繰り上げて内定とする。
- 2 代表となる選手は、監督の指示により、ダブルス、シングルのいずれかにも出場することに承諾しなければならない。（代表選手は、事前に承諾書の提出が必要となる）
- 3 ベンチ入り指導者について、①シングルスでは認めない ②ダブルスでは1次予選は認めるが、それ以降は認めない。
- 4 参加数及び当日の天候等、特別な事情が生じた場合、上記の試合方法を変更することがある。

国民スポーツ大会北海道代表選考規程

- 1 監督・コーチの選考について、少年男女は代表選手所属の指導者を中心に、成年男女は代表選手強化に携わる指導者を中心に強化委員会が推薦し、国体代表選考委員会の承認を経て、理事会で審議・決定する。
- 2 代表選手の選考は、以下に示した基準（注①）に該当したペア（同一ペアに限る）を「国スポ代表内定ペア（1ペア）」とし、予選会を免除する。
 なお、対象が2ペア（ダブルス）以上となった場合は、国スポ代表選考委員会で協議した後、道連理事会で最終審議・決定を行う。※少年のシングルスについては、別に定める。
- 3 上記2以外の代表選手選考会は、「国スポ道予選会実施要領」に基づき、大会要項に定めるペア数（シングルスは選手）を選考する。
 なお、最終リーグの順位は「ソフトテニスハンドブック大会運営規則第3章競技大会第10条」により決定する。
- 4 代表選手5名の他に補欠選手を各種目1名に限り置くことができるものとする。補欠選手の選考基準は、以下に示す注③の通りとし、強化委員会の承認を得て道連理事会で審議・決定する。
- 5 国スポ代表選考委員会は、上記により選出された選手のほか、強化委員会から推薦された監督・コーチ・補欠選手の選考について審議する。また、選手（補欠含む）及び監督・コーチに欠員が生じた場合には、速やかに強化委員会と協議し、補充の選考をしなければならない。
- 6 上記による選考結果は、国スポ道予選後の道連理事会で正式に発表する。
- 7 監督・コーチ・選手（補欠含む）は種目を問わずに一致団結し、常に北海道代表としての自覚と品位を保ち、競技力の向上に努めなければならない。
 なお、これらに反する行為があった者、または、そのような行為を看過した者は、国スポ代表選考委員会の審議により、北海道代表の資格を失うことがある。
- 8 国スポ代表選考委員会は、必要に応じて理事長が招集する。なお、委員は次のとおりとするが、審議の際には、会長（代理又は委任可）、副会長（2名以上）、理事長、副理事長（強化委員長を含む2名以上）の出席を要す。
 ※国スポ代表選考委員の該当者：会長、副会長、理事長、副理事長

注①：少年男女における「国スポ代表内定ペア・選手」

ダブルス（同一ペアに限る）	シングルス
○当年度全日本高校選手権 上位8ペア ○当年度ハイスクールジャパンカップ 上位2ペア	○当年度ハイスクールジャパンカップ （シングルス） 上位4名 ○全日本シングルス選手権 上位8名 ただし、ダブルスを優先として代表選手を決定するため、上記に該当する選手は、内定候補として、シングルス予選会を免除し、シングル予選会の1位以上の順位とする。

注①：成年男女における「国スポ代表内定ペア・選手」

ダブルス（同一ペアに限る）	シングルス
○前年度東・西日本選手権（一般） 上位8ペア ○前年度全日本学生選手権 上位4ペア ○前年度全日本社会人選手権（一般） 上位8ペア ○前年度全日本選手権 上位16ペア	なし

注②：少年男女における「指定シードペア・選手」

ダブルス（2次予選）	シングルス
○代表候補選手 男女各16名 ※高校指定大会及び高校1年生に限り中学指定大会のポイントを加えて、上位6～8ペア（必要に応じて強化委員長推薦を加える）を強化委員会が最終的に承認し、指定シードペアを選出する。 <u>同点ペアが複数出た場合は、対象者のみの選考会を別に実施する。</u>	なし

注③：成年男女における「指定シードペア・選手（最終予選）」

ダブルス（同一ペアに限る）	シングルス
○前年度北海道選手権（一般） 上位2ペア	○当年度北海道シングルス選手権 上位2名
○前年度東・西日本選手権（一般） 上位16ペア	○当年度全日本シングルス選手権 上位16名
○前年度全日本学生選手権 上位8ペア	○前年度全日本学生シングルス選手権 上位8名
○前年度全日本社会人選手権（一般） 上位16ペア	
○前年度全日本選手権（一般） 上位32ペア	

注④：補欠選手の選考基準

少年男女	成年男女
ダブルス及びシングルス予選会における次点選手から監督・コーチの意向を踏まえ、選考する。	ダブルス及びシングルス予選会における次点選手及び当年度の全日本シングルス選手権、北海道春季選手権、北海道選手権、東日本選手権、全日本学生選手権で上位入賞した選手の中から監督・コーチの意向を踏まえ、選考する。

■ 改正内容

○ 平成12年 1 月 22 日 理事会：補欠制について

補欠選手を認めず、選手変更を要する非常事態の場合出発前は国体代表選考委員会で、出発後は選手団の総監督に委ねることとした。

○ 平成14年 5 月 25 日 理事会：国体代表選考委員会について

委員については、会長、副会長、理事長、副理事長とし、審議の際は、会長（代理含む）、副会長（2名以上）、理事長、副理事長（強化委員長を含む2名以上）の出席を要することとした。

○ 平成18年 6 月 10 日 理事会：国体代表内定組の取り扱いについて

国体代表内定基準を作り、その対象組が複数生じた場合の取扱いを明記した。

○ 平成26年 3 月 1 日 理事会：監督・コーチの決定について

国体の監督・コーチは、強化委員会が推薦し、国体代表選考委員会の了承を経て、理事会で審議・決定することとした。

○ 平成27年 3 月 7 日 理事会：補欠選手の選考及びシングルの導入に伴う変更

シングルの導入に伴い代表選手が5名（ダブルス4名、シングル1名）になることから怪我による選手変更や練習パートナーなどの問題に対応出来るように補欠選手を1名置くことにしたほか、シングルの選考に関わる事項を明記した。

○ 令和 5 年 2 月 1 8 日 理事会：競技日程変更に伴う選考方法の見直し

成年男女参加選手の各種大会日程を考慮して、競技日程を5月最終週末にダブルスとシングル両方の予選会を実施することとした。

○ 令和 6 年 2 月 1 7 日 理事会：少年男女シングルス選考会実施方法の見直し

競技者育成プログラム step 2 との連動方法と選考会参加基準及び代表候補選手選考基準の見直しを行った。